

令和4年 第6回弟子屈町定例教育委員会会議録

- 1 日時：令和4年6月29日（火）午前9時30分から午前10時15分まで
- 2 会場：弟子屈小学校 会議室
- 3 出席委員
岩原教育長、金井教育長職務代理者、菅原委員、吉田委員、宮田委員
出席事務局
山口管理課長、中村管理課長補佐、武田指導室長、藤森社会教育課長、坪井給食センター副所長
欠席事務局
渋田社会教育課長補佐、杉崎公民館副館長、小見山図書館副館長
- 4 会議録署名委員：吉田委員
前回署名：菅原委員
- 5 傍聴人 弟子屈小学校 大西校長、諏訪教頭

議事日程

令和 4年 6月29日

日 程	議案番号	議 件
1		会議録署名委員の指名について
2		会期の決定について
3		教育長行政報告について

会議内容

【開 会】

山口課長 : ただ今より、令和4年第6回定例教育委員会を開会いたします。
開会にあたり、岩原教育長よりごあいさつ申し上げます。

岩原教育長 : おはようございます。

本日は、お忙しいところご出席いただきありがとうございます。

ご案内のとおり、今日は弟子屈小学校を会場に、移動教育委員会の開催となっております。

会議終了後は、授業参観や学校側との懇談会を予定しておりますので、よろしくお願いたします。

それぞれ、予定のある方は、予定の時間をもって退席などをお願いします。

それでは只今から、令和4年第6回定例教育委員会を開会いたします。

岩原教育長 : 日程1、会議録署名委員の指名につきましては、吉田委員にお願いしたいと思
います。

前回の定例教育委員会での会議録の署名につきましては、菅原委員にお願いし
ておりましたが、よろしいでしょうか？

各委員 : はい。

岩原教育長 : それでは、そのようにお願いたします。

岩原教育長 : 日程2、会期の決定ですが、会期につきましては、本日1日限りと致したいと
思いますが、これにご異議ございませんか？

各委員 : ありません。

岩原教育長 : 異議なしということで、会期は、本日1日限りと致します。

岩原教育長 : 日程3、教育長行政報告につきましては、私の方から説明致しますので、お手
元の資料を見て頂きたいと思います。

【行政報告件名】

5月31日(火) 第5回定例教育委員会
教育委員会連絡会議

6月1日(水) 第3回連携校長会議
川湯地区学校運営協議会

6月2日(木) 社会貢献感謝状贈呈(東星渡部建設(株)・道瀝工業(株))
美留和小学校学校運営協議会

6月3日(金) 桐木道議会議員 学校ICT活用授業視察同行(弟子屈小学校)
イングリッシュキャンプ実行委員会

6月4日(土) 公民館ロビー展

- 6月4日(土) アイヌ民族資料館感謝週間
弟子屈中学校体育祭
地域教育フォーラム
- 6月5日(日) グランフォンド摩周
- 6月7日(火) 第2回町議会定例会(～8日)
- 6月10日(金) コロナ地方創生臨時交付金事業選定庁内会議
アイヌ文化講演会
- 6月11日(土) 川湯保育園・小学校・中学校合同運動会
- 6月12日(日) 第6回パリモモ(うぐい)祭り
- 6月14日(火) 美留和小学校ミニミニ運動会
- 6月16日(木) 釧路教育局義務教育指導監訪問
生きがい講座「ウォークラリーゲーム」
寄付受納(摩周の里女性会)
弟子屈町学校保健協議会総会
- 6月17日(金) 社会貢献感謝状贈呈(あすなろ道路株)
認定こども園ましゅう運営委員会
- 6月18日(土) 和琴小学校開校90周年記念自治会小学校合同運動会
- 6月19日(日) コタンの昔を語る座談会
- 6月20日(月) 表敬訪問(U-12全道選抜サッカー大会出場挨拶)
- 6月21日(火) 弟子屈小学校運動会(高学年の部)
第3回連携教頭会議
- 6月22日(水) 弟子屈小学校運動会(低学年の部)
表敬訪問(高円宮賜杯学童軟式野球大会北北海道大会予選出場挨拶)
- 6月23日(木) 社会教育委員の会議・公民館運営審議会
- 6月24日(金) 教育大生教育実習(和琴小学校)
- 6月25日(土) アトサヌプリトレッキングツアー
- 6月29日(水) 第6回定例(移動)教育委員会(弟子屈小学校)

教育長日記 4件掲載

岩原教育長：以上で、行政報告について終わらせて頂きます。

何か、ご意見や、質疑がありましたら、お聞かせ願いたいと思います。

金井委員：今後の日程の確認ですが、イングリッシュキャンプが9月10日(土)に実施予定で、その後の工藤教授の講義が12日(月)となっていますが、この日程で間違いはありませんか？

工藤教授は11日(日)にも来るような事を言っておりましたので。

武田指導室長：工藤教授は9月10日のイングリッシュキャンプに参加いただき、12日に講演していただくという事になるので、9日に来町して美留和の晴耕塾に宿泊されるとの形で予定をしています。

岩原教育長：休憩します。

岩原教育長：再開します。

よろしいでしょうか？

各委員：はい。

岩原教育長：本日は、特に議案などの審議案件がありませんが、他に協議しておきたい事項・連絡などありましたらお願いします。

山口課長：資料を2点程配布しておりますので、まずは高校配置計画の案について説明をいたします。

先程教育長からの行政報告でも触れておりましたが、北海道教育委員会では6月7日に令和5年度から7年度までの計画案を公表しました。

このあと、7月から8月にかけて、地域別の検討協議会が行われ、秋には正式決定となる見込みです。

資料のほうに、「地域連携特例校の導入」とありまして、令和5年度に弟子屈高校が釧路江南高校を協力校として、地域連携特例校となる案が示されました。通常、1学年で2学級以下の小規模校は、中卒者の状況や、欠員状況、進学率など総合的に勘案して、順次再編整備となりますが、地理的条件から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い高校が地域連携特例校に位置付けられて、存続されることとなります。

弟子屈高校は、令和2年度から全学年で1学級となりまして、今回地域連携特例校に提案されました。

令和6年度には、釧路湖陵、商業、明輝、東高校で1学級減となります。

募集停止の学校としては、令和5年度に留辺蘂高校、令和7年度には穂別高校が募集停止となります。

穂別高校は平成21年度に地域キャンパス校として指定され、現在の地域連携特例校の中では最初の募集停止の高校になると伺っております。

釧路学区地区の高校配置計画案としましては、令和6年度の釧路管内の中卒者数が前年度比マイナス141人で、間口が4学級減りますが、令和8年度から11年度まででも196人減るということで、4年間で4学級から5学級に相当する中卒者の減となるようです。

それから、阿寒高校では既に地域連携特例校となっておりますが、地元の進学率及び地域の連携等から、再編整備が留保されております。

特例校は1学年の在籍者数が20人未満となり、その後も生徒数の増が見込まれない場合には再編整備となります。ただし、地域における高校の教育機能維持向上に向けた具体的取り組みと、その効果を勘案して再編整備を留保されますが、10人未満となりますと再編の対象となります。

弟子屈高校も少子化の波は免れませんが、何とか地元進学率50%と考えております。

この間、弟子屈高校の加藤校長先生も、既に特例校となっている清里高校を視察されるなどしております。近隣では、清里高校のほかに津別高校も地域連携特例校となっておりますので、教育委員会としても、自治体でどのような取り組みをしているかなどの情報収集をしたいなと思っています。

それから、もう一つの資料につきまして、運動部活動の地域移行に関する説明をいたします。

こちらも新聞やテレビで報道されておりますが、スポーツ庁の有識者会議が6月6日に中学校での休日の運動部活動の指導を令和7年度までに地域へ移行する提言をまとめております。

中学校の運動部活動の課題として、少子化によりクラブ数が減少し、また単独でチームが組めなくなったことや、指導する教職員からは、競技経験のない教員が指導せざるを得なかったり、放課後や休日の指導が大きな負担となっていること、働き方改革の観点から休養日の設定などを進めて来ました。

その中でも、目指す姿として、子供たちが継続してスポーツに親しむことの出来る機会を確保しつつ、働き方改革を進め、学校教育の質も向上されることとして、まずは休日の部活動から段階的に令和7年度末を目途に地域移行していく基本構想が提言されました。

さらに、平日の部活動の地域移行ですとか、吹奏楽などの文化系部活動についても同様に議論される予定であります。まずは、地域のスポーツ団体等と学校との連携を行い、都道府県や市町村での推進計画を進めることとなります。課題としては、小さな町で実際に指導者が確保できるのか？というのが大きな課題であります。

中体連などの大会でも現在は必ず教職員が引率することとなっておりますが、部活動指導員が見つかるのが課題であります。

道教委では人材バンクを設置しておりますが、弟子屈町まで実際に来てくれるのかということも不明であります。

このことにつきましては、先日の議会の一般質問でもありましたが、本当に非常に厳しい難しい課題でありますけれども、まずは様々な情報収集から始めていきたいと考えております。

岩原教育長：今の説明に対して質問などありますか？

菅原委員： 昨晚ちょうど、弟子屈高校の保護者会と役員会がありまして、それでこの特例校の説明会もあったようです。

保護者の中ではやっぱり、特例校になって初めて穂別高校が廃校になるということで、そこが結構みなさん驚いていたようです。

他の学校に行きたいという生徒ももちろんいるでしょうけれども、弟子屈高校ならではの魅力というのも引き出して行きながら、中学生をいかに弟子屈高校に行かせるか。ということまで話し合われたようです。

やっぱり保護者の中ではビックリしたというのがあったようです。

岩原教育長：穂別高校は入学者が10人を切っている状況であるので、募集停止に至っております。留辺蘂高校については地域連携特例校を選んでいないという状況があって、それで20人を切るような状況になっているので募集停止に至っています。

地域連携特例校は高校を残す手段でもあるということが言えます。

イメージとしては、地域連携特例校になると、いずれ高校は無くなるんだろうと思われるんだと思いますが。

部活動指導について、宮田委員のお子さんがやっている部活で指導者は何人いますか？

宮田委員：今年転勤してきた先生含めて3人います。

今のソフトテニスの顧問の先生は、鶴居の学校で長くソフトテニス部を指導されていましたが、本来の専門はサッカーとの事です。

顧問の人数を増やしてくれてるのは昨年度からですが、指導をする人と事務的な役割をする人を分けての3人体制でしたが、今年は3人で指導をしてっていて、1人監督で2人コーチ登録という形を取ってくれています。

岩原教育長：休日の練習体制はどのようになっていますか？

宮田委員：土曜日の午前中のみ練習です。平日も2日の休みがあります。

その他は自主練として、ちょっとしたサークルみたいなものを作って学校開放事業に登録をしたりだとか、夜間の中学校の体育館を借りたり、文化センターを使ったりしています。

岩原教育長：少年団の指導者は学校の先生ではないのですか？

宮田委員：少年団の指導者はテニス協会の方と、役場の方がやってくさっています。

金井委員：私もカヌーの公認スポーツ指導員でありまして、強いところはみんなスポーツ少年団でやっている所が多いと思います。穂別なんかはバレーボールの人たちが来てましたが、学校の先生が指導をするというより、スポーツ少年団で講師を呼んで、会費を払って習っているという印象が強かったです。

宮田委員：私もソフトテニス部の事しか知りませんが、強豪と言われるような部活は母体が少年団であって、中体連登録の関連で顧問の登録は必要なので、学校の先生の名前を貸していただいて、練習場所は中学校を使うけれども、活動は「少年団」というところが多いと思います。

もちろん学校の先生にそこまで求められなく、やった事のない競技の技術指導までしてくれとは思ってないので、外部指導者を上手く活用出来たらいいなどは思っていました。

金井委員 : 中体連、高体連の制度もどうかと思っていて、私は空手もやっているのですが、弟子屈高校で空手の強い生徒がいたのですけれども、結局、監督が学校の先生じゃないと大会に出られないんですね。私ではダメなんです。それで外部指導者を入れて、大会に出させようとするなら、外部指導者でも講師や監督になれるようにしないと。そこを改革しないとスポーツ少年団でも大会に出れない。監督は必ず教員でなければ。となっている変なルールがあります。

岩原教育長 : スポーツ団体はボランティアで指導してくれるケースが多いのですか？

金井委員 : ボランティアですね。ただ穂別で来ていたバレーボールのコーチたちは少年団でお金を集めて払っていました。

岩原教育長 : 休憩します。

岩原教育長 : 再開します。

岩原教育長 : 最後に、次回以降の、会議日程につきまして、確認します。

来月の定例教育委員会につきましては、前回の会議で7月26日(火)ということでご案内しておりましたが、都合の方はよろしいでしょうか？

各委員 : はい。

岩原教育長 : それでは、来月は26日をお願いします。

その次の、第8回定例教育委員会につきましては8月30日(火)を予定しております。

来月、再度確認したいと思いますが、日程予定しておいてください。

よろしいでしょうか？

各委員 : はい。

岩原教育長 : それでは、以上をもちまして、本日の会議「令和4年第6回定例教育委員会」を閉会いたします。

上記会議の次第は、書記の記載したものであるが、その内容は正確であることを証するため、ここに署名する。

弟子屈町教育委員会 教育長 岩原 勝行

弟子屈町教育委員会 委員 吉田 一徳